**情報提供書**

提出日：20　　年　　月　　日

情報提供書（概要）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①研究開発テーマ名(\*) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の研究開発（２０字程度を目安として記載してください。）　　　　　　　　　　　　 | 前回提出日（再提出時のみ） |
| 20　　年　　月　　日 |
| ②研究開発領域（番号を選択）(\*) | １．新エネルギー分野、２．省エネルギー分野、３．蓄電池・エネルギーシステム分野、４．クリーンコールテクノロジー分野、５．環境・省資源分野、６．電子・情報通信分野、７．材料・ナノテクノロジー分野、８．ロボット技術分野、９．新製造技術分野、１０．境界・融合分野、１１．その他（　　　　　　　　　） |
| ③解決すべき技術課題(\*) | 〇〇における〇〇〇〇〇〇〇の解決（解消、向上、拡大／低減、縮小、削減．．．）〇〇における〇〇〇〇〇〇〇の創出（創製、合成．．．）　（４０字以内としてください。） |
| ④先導研究の内容（技術的な課題と解決手段）(\*) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇別紙１の「２．先導研究の内容（技術的な課題と解決手段）」の内容を要約して600文字程度で記入してください。内外の動向、革新性、独創性、従来技術に対する優位性についても要約に含めて下さい。 |
| ⑤先導研究から社会実装に向けて想定されるシナリオ(\*) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇別紙１の「３．先導研究から社会実装に向けてのシナリオ・構想」の内容を要約して300文字程度で記入してください。 |
| ⑥社会実装のイメージ・インパクト(\*) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇別紙１の「４．社会実装のイメージ・インパクト」の内容を要約して300文字程度で記入してください。なお、省エネ効果やCO2削減効果についても要約に含めてください。なお、研究開発領域が上記６．～１１．である場合、省エネ効果やCO2削減効果について省略も認めます。 |
| ⑦提案者 | 機関名（法人名）　　　　○○○株式会社 |
| （連絡先）所属部署　　　　　　　　○○○開発本部　○○研究所役職名　　　　　　　　　主任研究員氏　名　　　　　　　　　○○　○○住　所　〒　　　　○○県○○市○○１－２－３　　○○○株式会社○○研究所ＴＥＬ　　　　　　○○○○－○○○○－○○○○E-mail　　　　　　○○○○@○○○.○○.○○　e-Rad研究者番号　8桁の数字（お持ちでない場合は、記入不要。） |

**※本情報提供書については、秘密保持の義務を遵守した上で、イノベーション政策の発展のため、主務官庁である経済産業省に情報を共有することがあります。ただし、当機構における先導研究（その後のプロジェクト含め）の実施等に当たり、(\*)の一部又は全部を公開することがあります。**

**※当機構から、必要に応じて追加情報を確認することがあります。**

情報提供書（別紙１）

【研究開発に関する具体的な情報】

＊以下の項目に沿って、今後先導研究を実施すべき研究開発に関する情報提供内容を記載してください。(別紙１)に関しては、先導プログラム（その後のプロジェクト含む）の実施に向けた検討や技術戦略の検討等の参考にする以外は一切利用いたしません。

１．研究開発テーマ名

「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の研究開発」

テーマ名は２０字程度を目安として記載してください。

２．先導研究の内容

（１）技術的な課題

（２）解決手段

＊先導研究において、**どのような技術的な課題を設定するのか、その課題を解決するためにどのような革新的な技術・システムを創出するのか（解決手段）**を論理的に記述してください。

＊上記の記述において、着想や解決手段がハイリスク・ハイリターンでインパクトのあるチャレンジであること、内外の動向を踏まえて世界トップレベルの研究開発であることなどを示し、従来の発想や方法に対する革新性、独創性、優位性をわかりやすく説明してください。

＊解決手段に関して、提案者自らが有する研究開発実績や経験を簡潔に記してください。

３．先導研究から社会実装に向けて想定されるシナリオ

＊原則2030年以降の実用化に向け、省エネルギー・新エネルギー・CO2削減等のエネルギー・環境分野や新領域の分野において、**国家プロジェクト、各種補助制度等、将来にどのような本格的な研究開発に発展させ、飛躍的なエネルギー効率の向上や低炭素社会の実現を目指すのか、または将来の産業競争力強化や新産業創出に結びつく**研究開発の長期的・全体的な構想を、具体的な道筋を示しながら記述してください。

＊研究開発の長期的・全体的な構想の記述においては、「２．先導研究の内容」で取り上げていない他の重要な課題も含め全体像を記述し、課題の相互の関係や位置づけを明確にしてください。

４．社会実装のイメージ・インパクト

＊本提案の先導研究が成功裏に本格的な研究開発へ発展し、**最終的な開発成果が得られた場合に、どのように社会に還元されるのか**を、社会実装のイメージや産業へ及ぼすインパクト等を示して記述してください。

＊社会実装のイメージや産業へ及ぼすインパクト等の記述に当たっては、技術的に達成される仕様（例えば効率、寿命等）に加えて、その開発技術が最終的に実用化されたときに想定される**経済的効果、市場規模、省エネ効果、CO２削減効果**等を示してください。効果の算出にあたっては、入手できる定量的データ等の根拠も合わせ記載してください。なお、情報提供書（概要）の「②研究開発領域」が６．～１１．である場合、省エネ効果やCO2削減効果について省略も認めます。

５．想定される先導研究体制

＊先導研究において研究開発を実施するにあたり、想定される研究体制を可能な範囲で記入してください（大学・公的研究機関のみの実施体制も可）。現時点での想定で構いません。

（１）「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の研究開発」研究体制

研究項目Ａ．〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の合成（○○○大学／○○研究室）

研究項目Ｂ．〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の作製（○○○株式会社学／○○開発部）

研究項目Ｃ．〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の分析・評価（○○○大学／○○研究室）

・・・

（２）先導研究期間（２．の先導研究の実施期間）

　2020年～20○○年（○○ヶ月）（最長2年）

　（注）大学、公的研究機機関のみの先導研究の委託期間は１年以内となります。

（３）必要経費概算

必要経費概算：　○億○千万円／上記の研究開発期間（1年間の上限1億円）

　（注）大学、公的研究機機関のみの先導研究の委託費は2,000万円を上限にしています。

情報提供書（別紙２）

【研究開発の概要説明図】

＊図、写真、グラフ等を利用して、この情報提供書の内容をわかりやすくまとめてください。

＊パワーポイントの資料等を適宜貼り付けて頂いても結構です。

情報提供書の作成・提出にあたっての注意事項

１．　情報提供書はMS-Word形式で電子メールに添付して提出してください。

* 情報提供書は、記載例に沿って記入してください。
* 記載項目は、削除・追加しないでください。（青色文字で記載されている注意事項等は削除してください。）
* 記載の内容が判読しやすい字体とし、大きさは10.5ポイントを基本としてください。
* 情報提供書の下中央にページ番号を入れてください。

２．　別紙には、積極的に図、写真、グラフ等を使用して、研究内容等を簡潔にわかりやすく説明するようにしてください。

３．　原則６ページ以内（別紙部分含む。）でまとめてください。

＜提出先＞

国立研究開発法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構

イノベーション推進部　フロンティアグループ宛

〒212-8554　神奈川県川崎市幸区大宮町1310　ミューザ川崎セントラルタワー20階

送信先メールアドレス：rfi-enekan@nedo.go.jp

＜電子メールの記入例＞

送信先eメールアドレス：rfi-enekan@nedo.go.jp

【メール件名】RFI（所属機関名／氏名）研究開発テーマ名

＊所属機関名及び研究開発テーマ名は簡潔な略称名で表記ください。

（メール本文の記入例）

ＮＥＤＯ　イノベーション推進部　フロンティアグループ　宛

情報提供依頼（RFI：request for information）に対して、添付ファイルのとおり情報提供書を提出します。

添付ファイルの内訳

１）研究開発に関する情報提供書（ｗｏｒｄ）

２）情報項目ファイル（ｅｘｃｅｌ）